

## 医療・福祉分野の事業継続

～ 災害に強い医療福祉体制を作る ～

仙台  
会場

入場無料

## 災害への備えと地域連携の重要性

2018年1月23日(火) 13:00～17:00 (12:30受付開始)

せんだいメディアテーク スタジオシアター(宮城県仙台市青葉区春日町2-1)

東日本大震災や熊本地震を経験して、「事業継続」の取組の必要性がクローズアップされています。「事業継続」は個々の事業者にとってはもちろん、社会全体にとっても、そのレジリエンスを高める上で非常に大きな役割を果たします。特に、医療・福祉施設等においては、災害時に期待される社会的役割ゆえに、地域連携を踏まえた「事業継続」への取組の重要性が高まっております。

そこで、内閣官房国土強靱化推進室では、医療・福祉施設等を対象としたシンポジウムを開催し、有識者による講演や登壇者によるディスカッションを通じて、「事業継続」の重要性、課題の共有を図るとともに、今後の普及促進に繋げていきたいと考えています。

※ 本シンポジウムは、全国6か所での開催を予定しています。

詳細は[ <http://www.resilience-jp.org/certification/seminar/> ]をご参照ください。

## プログラム

開会の挨拶  
[13:00-13:05]

内閣官房国土強靱化推進室

基調講演1  
[13:05-13:40]

「災害弱者を考慮した災害対策に必要な視点(仮)」

狩野 徹氏 (公立大学法人 岩手県立大学 社会福祉学部 学部長)

基調講演2  
[13:40-14:15]

「高齢者福祉施設が取り組むべき災害時の課題(仮)」

内出 幸美氏 (社会福祉法人典人会 業務執行理事)

休憩 [14:15-14:30]

基調講演3  
[14:30-15:05]

「東日本大震災の教訓 有機的連携のために残された課題」

長谷川 有史氏 (公立大学法人 福島県立医科大学  
放射線災害医療学講座 主任教授)基調講演4  
[15:05-15:40]

「災害拠点病院として取り組むべき課題(仮)」

久志本 成樹氏 (東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座救急医学分野 教授)

講演  
[15:40-15:55]

「国土強靱化の取組と国土強靱化貢献団体の認証制度について」

内閣官房国土強靱化推進室

休憩 [15:55-16:10]

パネルディスカッション  
[16:10-17:00]

「北海道・東北地域におけるレジリエンス強化」

&lt;パネラー&gt; 北海道・東北地域会場講演者

(進行:株式会社インターリスク総研 事業継続マネジメントグループ テクニカルアドバイザー 紙谷あゆ美)

お申込みはこちら>>[ <https://fs223.formasp.jp/f654/form6/> ]